平成30年度 米野岳中学校部活動指導方針

米野岳中学校 部活動

1 意義（心構え）

学校教育活動の一環として行われる部活動は、共通の興味や関心を有する生徒が、文化的・体育的活動をより深く追求していく中で、個性を伸長し、自主性を育成するとともに、社会性の発達を図ることを基本的意義とする。

本校においては、部活動を人間形成を行うための大事な場と捉え、生きる力を育み、豊かな人間性、健全な心と体を培う取組に重点を置く。

2 目的

本校部活動は、文化的・体育活動を通して、余暇の善用に心がけ、健康増進や体力の向上並びに集団生活に必要な能力を伸ばし、心身共に健康な生徒の育成を目指す。

3 学校における活動方針

- (1) 本校部活動は、本校の教育目標の下、生徒が豊かな学校生活を送りながら人格的に成長していくという部活動の基本的意義を踏まえ、勝利至上主義に陥ることなく、生徒の主体性や個性を尊重した運営に努める。
- (2) 競技志向や楽しみ志向、仲間づくり志向や健康づくり志向等、生徒の多様なスポーツ及び芸術に関するニーズに応え、一人一人が自己実現できるような指導に努める。
- (3) バランスのとれた生活やスポーツ傷害を予防する観点から、練習日数や1日当たりの練習時間、休養日の適切な設定を行う。
- (4) 各部活動は、米野岳中学校部活動指導方針（以下「指導方針」という。）に基づき、年間の活動計画、毎月の活動計画及び活動実績を作成し、校長に提出する。
- (5) 活動方針や活動計画については、各部活動における保護者会と連携して、活動を進める。

4 活動及び練習

練習日、練習時間及び練習試合については、校長の承認の下、顧問が作成した計画に基づいて行う。

(1) 活動期間

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(2) 練習日及び練習時間

ア 1週間の練習日は、5日以内とし、平日1日以上、週末（土曜日及び日曜日）1日以上の計2日以上を休養日とする。また、毎月第1日曜日は完全休養日とする。

イ 土曜日、日曜日、祝日に活動する必要がある場合は、生徒のバランスのとれた生活や成長からみて無理のない範囲で活動し、休養日を他の日に振り替えるなど適切に休養日を確保する。

ウ 長期休業中は、その意義を踏まえ、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設け、生徒に十分な休養を与える。

エ 定期考査前は、3日前から活動を休止することを原則とするが、対外試合等での活動が必要な場合は保護者会と協議し、学校長に届け承認を得る。

オ 平日の練習時間は、長くとも2時間程度とする。

カ 土曜日、日曜日、祝日、長期休業日の練習時間は、長くとも3時間程度とする。

(3) 活動期間及び下校完了時間

4月	～	9月	19:00	下校完了
10月			18:30	〃
11月			18:15	〃
12月	～	1月	18:00	〃
2月			18:15	〃
3月			18:45	〃

(4) 練習試合

ア 練習試合の範囲については、原則として県域内とする。

イ 練習試合は、生徒の発育発達からみて月3回程度とする。

ウ 実施にあたっては、顧問が、練習相手、試合日、場所、時間、引率等について、事前に校長の承認を得る。

(5) 生徒の安全確保

練習及び練習試合の実施については、生徒の安全確保を最優先とする。気候変動等により生徒の安全を確保できない場合は、活動の中止や計画の見直し等、適切に対応する。特に、夏季においては、「熱中症予防運動指針」（公益財団法人日本スポーツ協会）や気象庁が発表する情報等に十分留意する。気象庁の高温注意情報が発せられた当該地域・時間帯における活動は原則行わないこと、落雷等の危険がある場合はためらうことなく屋外での活動の中止や延期を行うこととする。

また、大会等への参加についても同様とする。

ア 活動前、活動中、終了後にこまめに水分や塩分を補給し、休憩を取るとともに、生徒への健康観察など健康管理を徹底する。屋外の場合は、着帽させる。

イ 熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、早期に水分・塩分補給、体温の冷却、病院への搬送等、適切な応急手当等を実施する。

5 開設部・指導者・練習場所（別紙参照）

6 指導者

(1) 指導者は、本校職員（部活動指導員を含む。）とする。指導者は、学校の教育目標及び指導方針が具現化されるよう、部員の掌握、活動計画、対外試合等の引率、保護者との連携等に努め指導する。

(2) 外部コーチについては、必要と認められた場合に、学校長の承認を得て、委嘱することができ、担当職員との協議により、主に部員の技術指導を援助する。

① 原則として契約は1年間とする。

② 委嘱状を交付する。

③ 本校部活動の意義及び目的に沿って指導する。

7 部員

本校生徒全員が希望により構成するが、保護者の同意と学級担任及び各部指導者の承諾を得たものとする。

8 対外試合

(1) 顧問は、事前に、大会名、主催者、大会期日、会場、引率者等を明記した計画書を校長に提出し、承認を得る。

(2) 生徒が参加する運動競技会等の開催地域及び大会数は、県内における参加を基本とし、県大会への参加は中学校体育連盟の主催大会は年1回、共催大会は年2回程度とする。

(3) 国内で開催されるジュニア世界選手権大会等の全国大会に生徒が参加する場合には、国及び財団法人日本スポーツ協会ほか関係団体が合意したものに限り、学校教育活動の一環として参加させる。

(4) このほかの大会参加については、(2)の大会を除き、9大会以内とする。

9 経費

部活動加入者は、入会金として、1人7,000円を支払う。入会金及び市からの消耗品費（未定）で各部活動の活動費、上位大会援助費等にあてる。また、必要に応じて各部で部費、交通費等の対応をする。

10 部発足までの日程

4/10（火）～4/20（金）まで1年生見学・仮入部（18：15完全下校）

4/17（火）まで 2～3年生入部受付

4/20（金）まで 1年生入部受付

4/20（金） 平成30年度部活動発足

11 その他

※ 事故防止のため指導者・外部指導者がいない時、部活動はしない。会議等でやむを得ない時は学習・掃除等について事前に指導をする。

※ 生徒・保護者に毎月の活動計画を配付する。